

市民文化局民間活用事業者選定評価委員会 アートセンター一部会 会議録

日時	令和7年8月6日（水）9：30～11：25	
場所	川崎市役所本庁舎306会議室（オンライン会議）	
出席者 （五十音順）	【委員】（五十音順） 岩崎 秀一委員（オンライン会議） 垣内恵美子委員（オンライン会議） 本杉 省三委員（オンライン会議）	【施設所管課】 市民文化振興室長長 // 担当課長 // 課長補佐 // 職員
事務局	市民生活部企画課担当係長、職員	
傍聴者	なし	
議題	1 川崎市アートセンターの令和6年度の指定管理に関する年度評価 2 川崎市アートセンターの第4期の指定管理に関する総括評価	
市民文化振興室担当課長	開会 ・開会挨拶 ・オンライン会議システムを使用して会議を開催することを説明 （3名中3名がオンライン会議システムを使用して出席） ・委員3名中3名の出席により部会の成立の報告 ・会議の公開・非公開 ⇒「川崎市審議会等の会議の公開に関する条例」に基づき、公開とすることで一同了承 ・会議録の作成 ⇒「要約方式」により作成することで一同了承 ・会議録の確認者 ⇒委員全員で確認をすることについて、一同了承 ・会議録の委員名記載 ⇒会議録への委員名と発言内容の記載及び委員名が開示対象となることを確認 ・委員の紹介（五十音順） ・配布資料の確認 ・委員及びその家族が指定管理者と利害関係がないことを確認 ・施設所管課及び事務局の紹介 ・部会長の選出 ⇒互選により部会長は垣内委員に決定	
垣内部会長	議題1 川崎市アートセンターの令和6年度の指定管理に関する年度評価 それでは、「議題1 川崎市アートセンターの令和6年度の指定管理に関する年度評価」について審議する。	
市民文化振興室課長補佐	<資料に基づき「令和6年度の年度評価」について説明>	

市民文化局民間活用事業者選定評価委員会 アートセンター一部会 会議録

垣内部会長	まず、評価シートの「1. 基本事項」と「2. 事業実績」について御質問、御意見等をお願いしたい。
本 杉 委 員	入場者数が減った主な理由は何か。
市民文化振興室担当課長	映像館と小劇場ともに入場者数が減っているが、特に映像館について、コロナ禍の後、順調に回復してきていたところ、今回は前年度に比べ減少し、コロナ禍前の水準に戻らなかったことが主な要因である。
本 杉 委 員	バリアフリー上映回数や貸館回数など、映画や企画によっては増えているものもある。どのような映画が減ったか、どのような年齢層が減ったかなどは分かるか。どのような企画や内容であれば来場者が多い、あるいは少ないということは大切な分析であり、映画や年齢層はどうであったかを知っておく必要があると思ひ質問した。
市民文化振興室長	<p>映画上映の日本全体の傾向として、配信で手軽に視聴できる環境が整ってきたこともあり、利用者数が減っていることがまずベースにあるが、アートセンターが一般の映画館とは異なり、常に新しい映画を上映しているわけではないため、一般の利用客が集まりにくいところもある。</p> <p>そうは言っても皆に楽しんでもらえる作品を上映することは必要で、昨年度、文化アセスメントの評価委員から専門性に偏っている部分があるとの指摘を受けたこともあり、指定管理者に対しては、映画の芸術性等を高めていくような作品も必要な一方で、収益も考える必要があるので、観客が集まるような映画も上映してもらいたいという話をしている。</p>
垣内部会長	アートセンターは公立の施設であり、民間のように観客数が多ければ良いというわけではなく、ある程度の客層を集めながら文化的な重要性もあるところを狙っていくミッションがあると思う。それに沿った運営を行うにあたりデータは必要になるので、今後の議論で確認したい。
本 杉 委 員	サービス向上の取組の最後の黒丸のタブレット端末の導入は良い取組だが、利用者数はどの程度か。
市民文化振興室課長補佐	タブレット端末は受付に設置しており、2箇所の窓口で1台又は2台あると思われるが、利用者数までは報告を求めておらず、把握していない。
垣内部会長	ニーズが多ければ台数も再検討すれば良い。導入は意義のあることだということによろしいかと思う。

市民文化局民間活用事業者選定評価委員会 アートセンター一部会 会議録

岩崎委員	「2 事業実績」の総入場者数の小劇場の人数に稽古利用者の人数が入っていないということだが、入場者数は大切な指標であり、全体像がつかめるように記載方法を検討願いたい。
市民文化振興室担当課長	承知した。評価シートの記載を修正する。
垣内部会長	次に「3. 評価」に移る。まず「利用者満足度」についてはいかがか。
本杉委員	映像館利用者の意見収集について、分析手法の検討に時間を要したとあるが、どのような理由か。
市民文化振興室課長補佐	利用者がオンラインでチケットを申込みした際に届く申込確認のメールにアンケートを添付することを想定していたが、システム会社との調整に時間を要し、導入まで至らなかった。
垣内部会長	外部のチケット予約サイトのデータを用いると属性の分析ができるので、導入することで、文化的に重要な作品がどの層に刺さっているのかも把握できる。非常に重要なマーケティングデータとなるため、分析方法やデータの収集方法について至急検討いただいたほうが良いと思うが、既に着手されているか。
市民文化振興室課長補佐	チケットの購入サイトを通じてのアンケートは、調整に時間がかかり、経費もある程度発生する見込みであったため、現在は紙でのアンケートを取り急ぎ導入している。
垣内部会長	紙でも、無いよりは良いので、ぜひ進めていただければと思う。 他に御質問はあるか。「利用者満足度」については評価点3となっている。各委員いかがか。
委員一同	了承
垣内部会長	次に「収支計画・実績」について、まず岩崎委員の御意見を賜った後に議論できればと思う。
岩崎委員	一点目に支出が減った理由について、「広告宣伝費や光熱水費等の継続的な経費縮減等を行った。」とあり、これは指定管理者の自助努力により経費が少なくなったと読める。しかし、資料2「収支状況確認シート」の予算・決算の差額を確認すると、100万円以上経費が下がっている項目が5つあり、給与

市民文化局民間活用事業者選定評価委員会 アートセンター一部会 会議録

	<p>手当、印刷製本費、光熱水費、賃借料、支払負担金である。この中で自助努力によって下がっているのは光熱水費だけに見える。置かれている環境の中で経費が少なくなったところと、指定管理者が努力で下げたところはしっかり分けて書いた方がよい。</p> <p>二点目に収入の確保について、収入が大幅に減ってしまい評価点が「2」となっているが、昨年度（令和5年度）も入場料収入が予算に比べ1,400万円少なく、収支も600万円の赤字であるが評価点は「3」であった。今回「2」になっている理由を確認したい。</p>
市民文化振興室担当課長	<p>一点目については、文章を修正する。</p> <p>（会議後確認を行ったところ、広告宣伝費についても予決差では100万円未満の減額であったが、提案額から見ると100万円以上の減額があり、指定管理者の工夫により縮減が図られたものであると確認できたため、そのことも分かる記載内容に修正することにした。）</p> <p>二点目については、昨年度（令和5年度）も入場料収入が予算額を下回った一方で、令和4年度との比較では570万円ほど増加していたことや、その他補助金についても一定の確保に向けた取組を指定管理者の中でしっかり努力していたことから「3」としていた。今回「2」としたのは、昨年度（令和5年度）比で入場料収入の減少とその他補助金の大幅な減少が大きな理由と考えている。</p>
垣内部会長	<p>一点目については、自助努力とそうでないところをしっかりとわかるように記載していただくということをお願いする。</p> <p>二点目については、赤字幅が増えたというところがあるかと思う。また、補助金の不採択は、取組不足・準備不足によるものか、指定管理者側でコントロールできない採択側の理由によるものかは分かるか。</p>
市民文化振興室担当課長	<p>補助金は主に国の文化庁のもの。また、映像館ではなく劇場のものである。不採択の要因としては、内容自体は採択の当落選上にあったが、首都圏周辺地域の採択の状況も踏まえて、相対的な評価で不採択になったのではないかと聞いている。</p>
垣内部会長	<p>国の補助金は全国に配りたいという考えがあるため、首都圏は競争倍率が非常に高く、採択される時もあれば不採択の時もある。補助金は一部取れた部分があることは評価できるが、思ったほど取れなかったということもある。他のところも合わせると大きな収入減になったことから「2」になったかと理解している。</p>
岩崎委員	<p>補助金に関しては頑張っても成果が出ないところがあるため、ここが「2」</p>

<p>垣内部会長</p>	<p>の要因になったら少し気の毒と思うところと、資料2「決算対前期比較表」では、入場料と施設利用料を合わせても、昨年度（令和5年度）から見ると減ってはいるが100万円の減である。他の物品販売収入等も含めて150万円程度しか下がっておらず、前々年度（令和4年度）から比べるとプラスになっているものもあり、「2」にするほど減っているのかというところが気になる。</p> <p>赤字幅が大きくなったというあたりの下げ幅、上げ幅についてはどうお考えか。</p> <p>例えば予算でいうと、アートセンターは指定管理料やその他含めて2億5千万円程度の施設であるが、5%以上赤字になってしまうと、他の施設でも評価点2がついているところもある。</p> <p>生田緑地でも確か数千万円の赤字が出たときには「2」になったと思う。ミュージアムの場合、予算規模が大きいことと、為替の変動でユーロ高だったことから、「3」という評価をしたかと思う。</p> <p>アートセンターは、為替等も関係ないこと、光熱水費が上がっていることや物価高騰は他の施設と同じでもあり、補助金が取れなかったのは運が悪かったところもあるが、首都圏の施設が補助金を取りにくいというのは業界ではよく知られていることである。それも踏まえて通常色々手当ををするが、今回、入場者数もアートセンターにとっては少し少なかったかということもあり、それで担当者としては、継続して赤字を出さないようにという意味も含めて「2」にしたのでは、と推測するところだが、何か事務局として補足があればお願いしたい。</p>
<p>市民文化振興室担当課長</p>	<p>垣内部会長がおっしゃるように、アートセンターの事業規模、予算規模を考えたときに赤字幅が大きくなっており、事業の継続性を今後考えた場合に一定程度収入の確保が求められている状況において、収支も今回1,500万円の赤字になっていることも含め、現在経営改善に向けた取組をしている最中でもあるが、「2」の評価にさせていただくのが妥当と考えている。</p>
<p>岩崎委員</p>	<p>最後にもう一点、「収入の確保」の記載に、「入場料収入について、コロナによる入場者数の減少から十分な回復に至らなかった」という表現があるが、回復に至らなかったというよりは回復させることができなかった、原因は先ほどの話でいうと日本の映画の全体的な傾向として回復していないという外部的な要因だけではなく、指定管理者としてそれを戻す努力及び成果を十分に獲得できなかったことが、「2」をつける理由になる。</p>
<p>垣内部会長</p>	<p>全国的な傾向はあるにせよ、きちんと回復しているところもあり、やはり指定管理者としての主体性を打ち出させていただくという趣旨で修正していただきたいと思う。</p>

市民文化局民間活用事業者選定評価委員会 アートセンター一部会 会議録

<p>本 杉 委 員</p>	<p>評価段階は御提案通りでよろしいか。少し残念ではあるが、傾向として赤字拡大基調にあるということも懸念される場所であるため、仕方がないかと思う。</p> <p>本杉委員はいかがか。</p>
<p>垣 内 部 会 長</p>	<p>少し厳しいなという印象はあるが、仕方がないかとも思っている。</p> <p>それでは評価点は事務局の提案通りとする。</p> <p>次に「サービス向上及び業務改善」についてはいかがか。</p> <p>「適切なサービスの提供」について、インスタグラムとフェイスブックの開設はとても良いと思う。評価シートには「効率的・効果的な広報を展開した」のみの記載だが、具体的な成果はあるか。「業務改善によるサービス向上」についても同様の記載がある。</p> <p>また、「利用者の意見・要望への対応」として具体的に調整・対応を図ったという部分はあるか。</p>
<p>市民文化振興室課長補佐</p>	<p>インスタグラムとフェイスブックについては、開設が昨年度の3月であり、なかなか成果を表すところまでは至らなかったことから、このような記載になっている。</p>
<p>垣 内 部 会 長</p>	<p>それでは、展開したというよりは、開始したということか。</p>
<p>市民文化振興室課長補佐</p>	<p>そのとおりである。</p>
<p>垣 内 部 会 長</p>	<p>展開したのであれば効果が出ているかと思ったが、新たな試みを始めたという点を分かりやすく記載いただきたい。</p>
<p>市民文化振興室課長補佐</p>	<p>承知した。</p> <p>「利用者の意見・要望への対応」については、きちんと利用者意見を職員で共有し、必要に応じて対応してはいるが、目立って記載につながるような取組が今回はなく、このような書き方になっている。</p>
<p>垣 内 部 会 長</p>	<p>承知した。記載できる良い取組があれば、「3」から「4」になる可能性があるのではと思い質問した。</p>
<p>本 杉 委 員</p>	<p>一見、「利用者の意見・要望への対応」の記載だけを見ると、昨年の「4」より下がっていると受け取ることが難しいが、今回「3」にするなら、それらしい理由が必要だと思う。</p>

市民文化局民間活用事業者選定評価委員会 アートセンター一部会 会議録

市民文化振興室課長補佐	令和5年度は、要望が多かった映像館のオンライン販売等の具体的な改善につなげたものが何点かあったため、「4」としていた。今回は、そのような目立った取組が見られなかったということで、「3」としている。
垣内部会長	評価基準として「3」は標準であり、きちんとした運営ができているという評価であるため、今回は「4」にするだけの取組がなかったということ。
垣内部会長	書きぶり、評価点はこちらでよろしいか。
委員一同	了承
垣内部会長	次に「組織管理体制」についてはいかがか。
岩崎委員	広報担当の方を配置した時期はいつ頃か。
市民文化振興室課長補佐	令和7年2月に配置した。
岩崎委員	承知した。 「担当者のスキルアップ」について、事業報告書にある研修の一覧を見ると、研修の多くが令和7年3月に実施されている。評価の理由には、「スタッフのスキルアップにつながったため評価を4とする。」とあり、3月に実施して3月にスキルアップにつながったと言って良いのか。 また、インスタグラム等を始めたのが3月、今回の研修に関しても計画を1月に作り実際に研修がスタートしたのが3月である。本来は、年度計画の中で、一定の成果を測ることができるタイミングで実施できると良かったかと思う。
垣内部会長	せっかく計画を作り、計画的に人材育成するわけなので、岩崎委員から御指摘があったように、年度計画の中でうまく期間配分をしていただけるようお願いしたい。 評価点についてはよろしいか。
委員一同	了承
垣内部会長	次に「適正な業務実施」についてはいかがか。清掃や施設・整備の保守管理ということで、適正に行われたということで「3」になっている。こちらで問題ないか。
委員一同	了承

垣内部会長	<p>それでは、「3. 評価」は、評価段階についての変動はなく、修文については、いくつか御指摘があった点を踏まえて、書きぶりを御検討いただきたい。</p> <p>「4. 総合評価」は、評価点が変わらないためCとなり、少し残念だが、期待を込めてのものと御理解いただければと思う。</p> <p>それでは「5. 事業執行に対する全体的な評価」及び「6. 来年度の事業執行に対する指導事項等」について、併せて議論したいと思う。</p>
岩崎委員	<p>まず、「5. 事業執行に対する全体的な評価」の第5「効果的な運営」について、努力で経費削減できているところと、結果として経費が減ったところの割合も少し多かったかと思うので、実態に合わせた書きぶりをお願いしたい。</p> <p>また、「6. 来年度の事業執行に対する指導事項等」の「入場者数が昨年度に比べ減少～収入の確保に努めること。」という部分について、先ほど、人数が多ければ良いというわけでもないというお話もあったが、やはり、入場料収入が減っているのは入場者数が減っていることと連動していると思うところ、アートセンターの目的に従った形で利用者を増加させ、その結果として収入が増えて赤字が解消するという形が必要だと思うので、こちらも文章の修正をお願いしたい。</p>
垣内部会長	<p>先程本杉委員からもお話があったように様々な形で分析していただいて、より良いものを提供する、そうすると多くの人がやってくる、そうすると自然と収入も確保できるというサイクルを上手く回せるように、文章を工夫していただくということによろしいか。</p>
委員一同	<p>了承</p>
垣内部会長	<p>年度評価シートについては評価段階の変更はなく、多少修文をしていただくとし、了承とする。文章の書きぶりは事務局に一任する。</p>
議題2 川崎市アートセンターの第4期の指定管理に関する総括評価	
垣内部会長	<p>つづいて、「議題2 川崎市アートセンターの第4期の指定管理に係る総括評価」について審議する。</p>
市民文化振興室課長補佐	<p><資料に基づき総括評価について説明></p>
垣内部会長	<p>総括評価についても、項番ごとに分けて、委員の皆様から御質問、御意見をいただきたい。</p> <p>まず、「2. 『評価の視点』に基づく事業期間全体の評価」についてはいかがか。</p>

市民文化局民間活用事業者選定評価委員会 アートセンター一部会 会議録

委員一同	特になし
垣内部会長	次に、「3. これまでの事業に対する検証」と「4. 今後の事業運営方針について」について、3の「2. 制度活用による効果はあったか」の入場者数等の数字が増加していく方向ではないところが少し残念ではあるが、逆に維持できていると評価することもできると思う。こちらについてはいかがか。
岩崎委員	8ページ目「2. 制度活用による効果はあったか」のコスト面について、2段落目にインボイス制度の導入、キャッシュレス決済導入などで経費が増えたという部分があり、その次に令和6年度は金額がいくら減って、との記載があるが、これは総括評価なので、あくまでその指定管理期間の総括的な話として、この部分の文章はカットしていただいた方が良いと思う。
市民文化振興室担当課長	ご指摘のとおりカットとしたい。
岩崎委員	もう一点、次の「3. 当該事業について、業務範囲・実施方法、経費等で見直すべき点はないか」について、最後の段落に「収入増加に向けて～ノウハウを生かして取り組む必要がある一方で」とあるが、まず大事なのはアートセンターの目的の範囲の中でしっかりと利用者の確保に努めることとし、結果としてそれが収入増加につながるので、そちらの方に重きを置いて書く方が良い。 この「3. 当該事業について、業務範囲・実施方法、経費等で見直すべき点はないか」で記載するべきか、次の「4. 今後の事業運営方針について」のどちらで記載するべきなのは事務局にお任せしたいが、収入増加を直接目指すと、違う方向に行きかねないので、あくまでアートセンターの目的に沿った中で利用者をしっかりと確保していく、そのあたりにしっかりと回帰いただきたい。 特に収入に関して言うと、今の収入規模だと、指定管理としての事業継続が難しくなるため、人数をしっかりと確保しながら収入をしっかりと確保する、というところまで書いた方が良いのかもしれない。
垣内部会長	岩崎委員がおっしゃったことが分かるように書いていただくこととしてよろしいか。
委員一同	了承
垣内部会長	映像編集室は前から使われていないと思うが、用途変更についても検討するというのを仕様書に書くということか。
市民文化振興室担当課長	映像編集室については、条例に規定する施設であるため、令和7年9月議会で、映像編集室を廃止するという旨の条例改正をする方向で進めている。

市民文化局民間活用事業者選定評価委員会 アートセンター一部会 会議録

	<p>映像編集室の廃止後は、利用者、関係団体、ボランティア等の利用者の打合せや相談窓口を活用することを想定しているが、指定管理者の御提案に期待したいとも考えている。</p>
垣内部会長	<p>そうすると、色々な付帯設備も映像編集室にあるが、廃止するとそこが空間になり、その空間の利用の仕方については指定管理者の提案を待つという立て付けになる、という理解でよろしいか。</p>
市民文化振興室担当課長	<p>そのとおりである。</p>
垣内部会長	<p>老朽化の修繕や、公開の共同管理空地の追加の管理など、色々な部分を管理経費に入れるということで、大規模改修は設置者が行う部分かと思うが、指定管理者には何を期待しているか。</p>
市民文化振興室担当課長	<p>施設の設備に関しては、年間400万円までは指定管理者が修繕することになっており、それ以上の大規模修繕に関しては、市と指定管理者が協力しながら、市が費用負担して修繕に取り組んでいく。</p> <p>公開空地は、アートセンター前にセットバック用地があるため、ここの費用負担も市とする。</p> <p>基本的には管理運営は指定管理者に担っていただこうと考えている。</p>
垣内部会長	<p>他に御質問・御意見はないか。</p> <p>では御意見も出揃ったため、委員会としては第4期の総括評価についてはおおむねこのとおりで了承したいと思う。8ページ目「3. これまでの事業に対する検証」の「2. 制度活用による効果はあったか」の令和6年度に特記したコスト面の記載は削除いただくことと、「3. 当該事業について、業務範囲・実施方法、経費等で見直すべき点はないか」の収入増加に関する記載は、直接それを目指すのではなく、まずはアートセンターの目的に沿った形で利用者の増加を図り、それを収入増加に結び付けていくという趣旨の内容に修正いただくこととし、その他は原案でよろしいか。</p>
委員一同	<p>了承</p>
垣内部会長	<p>それでは予定されている議事はこれで終了となるので、市民文化局民間活用事業者選定評価委員会アートセンター一部会を閉会とする。</p>
市民文化振興室担当課長	<p>< 閉会の挨拶 ></p> <p style="text-align: right;">以上</p>